



令和6年12月26日

関係者 各位

一般財団法人
日本モーターサイクルスポーツ協会

2025年度 国内競技規則書 スーパーモト規則変更点のおしらせ

はじめに、2025年MFJ国内競技規則は、WEBサイト版の提供となります。
競技参加に必要なルールを、お手持ちのスマートフォンやPC、タブレットなどの端末に対しも、PDF閲覧に加え、PC等の保存、プリントアウトしてご覧いただけます。
WEB版の規則書は、新規則の制定および変更点は、「赤字」で記載されています。

この案内では、主な新規則、変更点は、「赤字」削除された箇所は「赤字の取り消し線」で表記しています。詳しくは、下記にアクセスいただき確認ください。
アクセス先：<https://rules.mfj.or.jp/>

1 スーパーモト競技に関する変更点 該当規則：付則25 スーパーモト競技規則

1) ライダーの装備

6	ライダーの装備
6-1	ヘルメット
6-1-1	ヘルメットはMFJがモトクロス用もしくはロードレース用として公認したものでなければならない。
6-1-2	MFJの公認ヘルメットには、MFJ公認マークが貼付される。 予告事項：旧規格「使用期限 2026年12月31日」のヘルメットは2027年から使用できなくなります。 <図表参照>
6-3-1	レーシングスーツ
6-3-1-2	MFJが公認したレーシングスーツには、MFJ公認マークが貼付されている。 予告事項：旧規格「使用期限 2026年12月31日」のレーシングスーツは2027年から使用できなくなります <図表参照>

<p style="text-align: center;">旧規格</p> <p style="text-align: center;">使用期限 2026年12月31日</p> <p style="text-align: center;"><small>※2017年から使用できません。</small></p>		
--	--	---

2026年12月31日に有効期限を迎えるヘルメットおよびレーシングスーツの規格品に対して予告事項の記載。

2) 車両区分

7-2 クラス名称・車両区分

競技クラス	車両区分名称		排気量	
			4ストローク	2ストローク
S1 OPEN	アンリミテッド	市販車状態で460cc以上の車両	460cc以上	
	S1		290cc～450cc	175cc～250cc
S1 PRO(M-1)	S1		290cc～450cc	175cc～250cc
S2 (M-2)	S2		175cc～250cc	100cc～125cc
S3 (M-3)	S3	一般市販車	231cc～250cc	
		レーサー(MX・ED)	85cc～150cc	51cc～85cc
S4	S4	一般市販車	51cc～125cc	
S4ストック	S4ストック	(国産・外国車)	50cc以下	50cc以下

- ・ S1 PRO クラスの参加車両は、「S1車両」に限定される。
- ・ S1 OPEN クラスは「アンリミテッドおよびS1車両」が参加できる。
- ・ **排気量の改造による競技クラス変更は認められない。**

公認車両からの排気量アップによる他クラスの参加は認められない。

3) 競技関連

① ウェイティング（繰り上げ出場）

- 21-6 ウェイティング（繰り上げ出場）
 決勝レースに出場不可能となった者がいた場合、その者に代わり予選結果次点の者で「**ウェイティング申請書**」を提出したライダーの決勝レース参加を特別に認めること。
- 21-6-1 ウェイティングの資格を有する者は「**ウェイティング申請書**」を提出した者の中で総合予選結果での上位3名までとする。
- 21-6-2 予選結果発表後主催者が規定する時間内に「**ウェイティング申請書**」を提出する。

- ・ 予選落ちの選手を決勝にスムーズに参加しやすくするために改定された。
 例：決勝レース1にてリタイヤが発生した場合も、「**ウェイティング申請書**」が予選結果の暫定時間以内に提出されていれば、決勝レース2にも有効となる。

② スタート進行中のトラブルについて (主にエンジンストール時の対応)

23-2-7	ウォームアップラップ開始
23-2-7-7	ウォームアップラップ途中でトラブルに見舞われたライダーは、ピットレーンに戻って修理できる。
23-2-7-8	グリッドでエンジンをストールさせたライダーまたはその他のトラブルに見舞われたライダーは、モーターサイクルにまたがったままの状態、腕を上げ可能な限り後続車両にアピールしトラブルが発生している事を知らせなければならない。
23-3	スタート
23-3-1	レッドライトが2~5秒間点灯され、そのレッドライトが消灯された時点でスタートとなる。
23-3-2	レッドライトが消灯された後で、エンジンがストールした場合、トラブルに見舞われたライダーは、エンジン始動を試みる行為をせず、モーターサイクルにまたがったままの状態、腕を上げ後続車両にアピールしなければならない。オフィシャルの指示に従ってマシンをピット作業エリアに押して行かなければならない。

スタート進行時におけるトラブルに見舞われたライダーは、腕を上げ、後続車にアピールすることに統一された。

③ クイック リスタート

28	赤旗中断されたレースの再スタート
28-1	競技結果 (トップのライダー) がレース距離50%未満の場合の再スタートには下記各項が適用される。
28-1-7	クイック リスタート <ul style="list-style-type: none">スタート手順はサイティングラップもしくはマシンを押して、スターティンググリッドについたことが確認された段階で、「ウォームアップラップ開始30秒前ボード」が提示される。通告されたサイティングラップ開始時刻にピットレーン出口は約30秒間解放される。「ウォームアップラップ開始30秒前ボード」が提示されるまでに、スターティンググリッドにつけない場合は、決勝スタートは、ピットスタートとなる。グリッドについた車両のエンジンは停止しない。再スタートの場合、ライダー1名につき1名のピットクルー (工具を持たずに) が、ライダーにグリッド位置を教えるために、グリッドに入ることが認められる。
28-1-8	レースの最終結果は、複数のレースの周回数を合算し、最大数の周回のライダーが優勝者となる。周回数が同数の場合は、最終レースの順位が優先される。ただし、複数のレースタイムは合算されない。

- 赤旗中断後の再スタートにおいて、速やかに再開するために、グリッド、コース上に問題がないことが確認された時点で、「30秒前ボード」が提示され、クイック リスタートの手順にて再開とする。
- 「30秒前ボード」が提示され、ピットレーン出口の解放時間が締め切られた時点で、スターティンググリッドにつけない車両は、ピットスタートとなる。車両をグリッドに押していくことは認められない。

2. 技術規則に関する変化点

下記の内容に関して規則の改定が行われた。

3-1-6	音量規制値
3-1-6-1	全日本およびS1チャレンジは、全クラス最大114dB/Aとする。 予告事項：2027年から音量規定値は、最大111db/Aに改定される。 適用時期は、2027年から、全日本スーパーモト選手権 S1PRO、S1OPEN、S2クラスに適用される。 2028年から、チャレンジ選手権クラスに適用される。

音量の規定値が、2027年より改定される事項を記載した。

3. S-1チャレンジに関する変化点

S-1チャレンジの有効ポイント制は、廃止された。

「S1チャレンジ」開催概要

〈開催概要抜粋〉 賞典／得点

各大会においては、A級B級混走の結果で順位を決定し表彰を行う。

シリーズポイント（兼昇格ポイント）はB級のライダーのみに付与される。

有効ポイント制は今年より廃止された。

関連 付則25 スーパーモト競技規則

32-4 S1チャレンジのポイントは、当該クラスの総合順位からライセンスB級の者のみを抽出した順位により、32-2項のポイントが与えられる。

32-5 S1チャレンジは、スーパーモトB級のライダーにのみポイントが付与され、~~全7大会8レース中6レースの有効ポイント制により、~~ランキングが決定される。

以上